

2019年12月2日

各位

アルフレッサ ファーマ株式会社

放射線治療用吸収性組織スペーサ「ネスキープ®」

保険収載のお知らせ

当社が製造販売している、放射線治療用吸収性組織スペーサ「ネスキープ®」につきまして、12月1日より保険収載されましたので、お知らせいたします。

「ネスキープ®」は、近接する消化管等により粒子線治療が困難な患者に対する、悪性腫瘍と消化管等との間隙確保を目的とした吸収性組織スペーサであり、6月27日より保険収載に先駆けて販売を開始いたしました。

当社は、今後も付加価値の高い製品の開発・導入に取り組み、多様な医療ニーズに対応できる製品を提供することで医療に貢献したいと考えております。

記

製品概要

製 品 名	: ネスキープ®
一 般 的 名 称	: 放射線治療用吸収性組織スペーサ
特定保険医療材料機能区分	: 200 放射線治療用合成吸収性材料 (2)シート型
償 還 価 格	: 516,000 円
準 用 技 術 料	: K642 大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 1 腸切除を伴わないもの 14,290 点
規 格	: 幅 200mm×奥行き 100mm×厚さ 3種(5mm・10mm・15mm)
包 装	: 1 枚/1 箱
製 造 販 売 元	: アルフレッサ ファーマ株式会社

留意事項

・特定保険医療材料

ア 近接する消化管等のため粒子線治療の実施が困難な患者に対して、腹腔内もしくは骨盤内の悪性腫瘍（後腹膜腫瘍を含む）と消化管等との間隙を確保するために使用した場合に限り、一連の治療につき1枚を限度として算定できる。

イ 当該材料は、関係学会の定める診療に関する指針に従って使用した場合に限り算定できる。

・準用技術料

近接する消化管等のため粒子線治療の実施が困難な患者に対して、腹腔内もしくは骨盤内の悪性腫瘍（後腹膜腫瘍を含む）と消化管等との間隙を確保するためにシート型の放射線治療用合成吸収性材料を留置した際には、本区分の「1」腸切除を伴わないものの所定点数を準用して算定する。

保険収載日

2019年12月1日

使用目的又は効果

近接する消化管等のため粒子線治療の実施が困難な患者における腹腔内もしくは骨盤内の悪性腫瘍（後腹膜腫瘍を含む）と消化管等との間隙の確保

【本製品に関するお問い合わせ先】

アルフレッサ ファーマ株式会社

営業本部 メディカルデバイス営業統括部 MD 推進部 06-6941-0303

以上